

「胃疾患リスク A B C 分類」 新報告書の運用開始のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、「胃疾患リスク A B C 分類」をご依頼いただいた場合に、従来の報告書に加え、新たに受診者向けの報告書も併せて発行させて頂きます。

「胃疾患リスク A B C 分類」は、胃の健康度を A ～ D 群に分類することにより、リスクに応じた検診間隔を設定し健康管理を効率的にするものであり、新たに設定した受診者向けの報告書では、胃の疾患に罹るリスクをより容易に把握しやすくなっております。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

報告対象項目

- 胃疾患リスク A B C 分類 項目コード：4 2 3 9

※ 依頼書を用いてご依頼する場合は、以下のいずれかの方法でお願いします。

- ① 【4239】胃疾患リスク A B C 分類、【4675】ペプシノゲン I ・ II (PG I ・ II)、【4176】ヘリコバクター・ピロリ抗体(国内株)の 3 項目を同時に依頼する。院内セットなどにご登録下さい。
- ② 保健科学セット (H K K セット)：9 6 で依頼する。(H K K セット内容は、【4239】胃疾患リスク A B C 分類、【4675】ペプシノゲン I ・ II (PG I ・ II)、【4176】ヘリコバクター・ピロリ抗体(国内株)の 3 項目)
- ③ 2 0 1 2 年 4 月以降に配布する「総合依頼書 4 A」にて新設する依頼ポジションで依頼する。

報告開始日

平成 2 4 年 3 月 1 2 日 (月) 受付分より報告開始

※ 裏面の新報告書サンプルもご参照下さい。

保健科学グループ



株式会社 保健科学研究所

本社／ 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社／ 仙台市宮城野区扇町 1-3-5 TEL 022-236-9345
中部支社／ 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社／ 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社／ 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

い か が く 小 田 原 衛 検
新潟臨床検査センター カスタムメディカル研究所
保健科学東日本 ケーアイエー細胞病理研究所
日本ノーバメディカル研究所 日本厚生団衛生科学研究所
組織科学研究所 相模医研
遠州予防医学研究所 湘南医化学検査センター
東部メディカルセンター

▼「胃疾患リスクABC分類報告書」のサンプル

【表面】

胃疾患リスクABC分類報告書			
受診者名 ホケン タロウ 様			
カルテNo.	検体No.		
年 号	整理No.		
性 別	採取日	年 月 日	
診療科	受付日	年 月 日	
Dr 名	報告日	年 月 日	

検査項目	検査結果	判定	判定基準
ペプシノゲンⅠ	71.3 [ng/mL]	(－)	ペプシノゲンⅠ値及びⅠ/Ⅱ比 (3+) 30.0ng/mL以下 目づ 2.0以下 (2+) 50.0ng/mL以下 目づ 3.0以下 (1+) 70.0ng/mL以下 目づ 3.0以下 (－) 70.1ng/mL以上 又は 3.1以上
ペプシノゲンⅡ	22.9 [ng/mL]		
ペプシノゲンⅠ/ペプシノゲンⅡ比	3.1		
ヘリコバクター・ピロリ抗体	10.9 [U/mL]	(+)	(+) 10.0U/mL以上 (－) 10.0U/mL未満

① あなたの分類結果です。

☐ **A群** 健康的な胃粘膜です。

☐ **B群** 少し弱った胃粘膜です。
潰瘍等にご注意し、内視鏡検査を受けましょう。

☐ **C群** 胃粘膜が萎縮しています。
定期的な内視鏡検査を受けましょう。

☐ **D群** 萎縮がかなり進んだ胃粘膜です。
毎年の内視鏡検査を受けましょう。






自分の分類結果を把握し、B、C、D群の方は内視鏡検査を定期的に行うなどして病気の早期発見につとめましょう。

②

999-99
医療機関名 保健科学検診センター
検査実施施設 保健科学研究所 佐竹秀逸
保健科学グループ

【裏面】

③ あなたの胃はどのタイプ?

胃の検診で多く実施されているのはバリウムを飲んでから行うX線撮影で、フィルムに写った胃壁の凹凸から胃の状態を推測する検査です。
この方法とは別に、2種の血液検査によって「胃の健康度」を調べることができます。

Aタイプ
健康的な胃粘膜です。
胃の病気になる可能性は低いと考えられます。



Bタイプ
少し弱った胃粘膜です。
潰瘍等にご注意し、内視鏡検査を受けましょう。



ペプシノゲン検査 + ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

	ヘリコバクター・ピロリ抗体検査
	(－) (＋)
ペプシノゲン検査	(－) Aタイプ Bタイプ
	(1+) Dタイプ Cタイプ

Dタイプ
萎縮がかなり進んだ胃粘膜です。
毎年の内視鏡検査を受けましょう。



Cタイプ
胃粘膜が萎縮しています。
定期的な内視鏡検査を受けましょう。



※「ペプシノゲン」検査
胃粘膜の「萎縮」具合を調べる検査で、胃がん検診にも応用されています。萎縮が進んだ胃は胃がんになりやすいといわれています。

※「ヘリコバクター・ピロリ」(H.ピロリ)抗体検査
胃がH.ピロリ菌に感染していないか調べる検査です。H.ピロリ菌は胃粘膜にダメージを与え、さまざまな病気の引き金になると考えられています。

H.ピロリ除菌治療を受けた方
(この検査には不適な方です)

ヘリコバクター・ピロリ菌除菌後の方は、除菌群として、定期的に内視鏡検査を受診しましょう。



《この検査に不適な方》

- 明らかな上部消化器症状のある方
- 上部消化器疾患治療中の方
- プロトンポンプ阻害剤服用中の方
- 胃切除後の方
- 胃不全の方
- H.ピロリ菌除菌治療を受けた方

監修/川崎医科大学 総合臨床医学 井上和彦

※ 実寸は、B5サイズとなります。

◆ 主な記載内容：当報告書は、受診者向けとして作成しております。

ペプシノゲンとヘリコバクター・ピロリ抗体の検査結果を胃疾患リスクABC分類の結果と併せてご報告いたします。

【表面】

- 胃疾患リスクABC分類の該当する分類結果に○印を記入してご報告いたします。
当報告書では、胃疾患リスクに応じて、A群からD群へとデザインを変えており、分類毎に疾患に罹るリスクを容易に把握しやすくしております。
- 医療機関名を下部、受診者名を最上部に表記させていただきます。

【裏面】

- 胃疾患リスクABC分類の分類基準とその見方及び注意事項を記載させていただきます。